



IEEE AP-S Japan Chapter

2008 年度総会資料

2008年12月11日
IEEE AP-S Japan Chapter
Chair 森下 久

1. 開催日時：
2008年12月11日（木） 午後17：20－18：00
2. 開催場所： 機械振興会館 6F 66号室
(港区芝公園3-5-8)
3. 議題：
 - (1) 2008年度活動報告
 - (2) 2008年度会計報告
 - (3) 2008年度IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award 授与
 - (4) 2009年度役員について
 - (5) 来年度の活動計画

(1) 2008年度活動報告

Chair : 森下 久 (防衛大) Vice Chair : 新井 宏之 (横浜国大)
Secretary : 長 敬三 (NTT ドコモ) Treasurer : 道下 尚文 (防衛大)

● Technical Meetings

I. 主 催

(i) Japan Chapter 主催国際会議

国際会議 2008 IEEE International Workshop on Antenna Technology 開催

年月日/会場 : 2008年3月4日~6日 千葉大学

出席者数 : 212名 (25カ国・地域 : 55%が海外参加者)

(詳細は別紙 AP Magazine 記事参照)

(ii) 特別講演

(毎月開催される電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会に合わせて開催)

開催日	場 所	講 演 者	講 演 題 目	出席者数
2月7日	NHK放送技術研究所	菅原 正幸 (NHK)	未来のテレビ:スーパーハイビジョン	40
9月11日	防衛大学校	渡辺 秀明 (防衛省)	電波機材の研究について	32
10月16日	東北学院大学	渡邊 高志 (東北大学)	運動麻痺者を支援する機能的電気刺激(FES) ~ 生体に学ぶ動作の制御 ~	31

(iii) アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (再開催第9回)

(信学会第2種研の再開催を主催)

開催日	場 所	講 師	講 演 題 目	受講者数
5月23日	横浜国立大学	森下 久 (防衛大学校)	小形アンテナの基礎と実際	32

(iv) Japan Chapter 主催講演会

開催日	場 所	講 師	講 演 題 目	受講者数
11月6日	横浜国立大学	Prof. Jaehoon Choi (韓国漢陽大学)	Multiband and Wideband Antennas	34

II. 共 催

・電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会主催 特別講演

開催日	場 所	講 演 者	内 容	出席者数
6月19日	機械振興会館	手代木 扶 (アンリツ) 諸岡 翼 (東芝リサーチコン サルティング)	永井淳先生追悼講演会	約 50
7月19日	北海道大学	伊藤 精彦 (北海道大学)	私のアンテナ研究を振り返って	約 50

・電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会 (2月, 6月, 7月, 9月, 10月, 12月開催 (Japan Chapter 地区内開催研究会)、詳細省略)

III. 協 賛

- ・URSI-C, 第20期 第5回 (1月11日), 6回 (5月23日), 7回 (8月29日), 第21期 1回 (11月7日) 公開研究会
- ・東京工業大学ミリ波プロジェクト主催 東京工業大学 ミリ波輪講会 (3月28日)
- ・電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会主催 「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第35回): 無線通信シミュレーションのための電波伝搬基礎」 (9月8日)
- ・電子情報通信学会人体周辺の電波利用技術研究会主催 「ボディエリア通信の現状と最新技術動向」ワークショップ (9月26日)
- ・東京工業大学電気・情報系談話会 (Volakis 教授) (10月9日)
- ・電子情報通信学会アンテナ・伝播研究会主催 「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第36回): 無線ICタグ用アンテナの基礎」 (12月10日)

● Non-Technical Meetings

I. 総 会

開催日	場 所	目 的・内 容	出席人数 (予定)
12月11日	機械振興会館	2008年度総会 ● 2008年度活動報告および会計報告 ● 2008年度 AP-S Japan Chapter Young Engineer Award の授与等 ● 2009年度役員承認	50

II. 委員会出席

開催日	場 所	目 的・内 容
6月30日	青学会館	Japan Council Chapter Operations Committee Meeting 出席
7月10日	サンディエゴ	IEEE AP-S Chapter Chair' s Luncheon 出席
10月28日	台北	Region10 AP-S Chapter Chairs Meeting 出席 Chapter 活動 Poster Presentation への参加
11月19日	弘済会館	Japan Council Chapter Operations Committee Meeting 出席

III. 役員打合せ

a. 会合：12回

(2008/1/24, 2/8, 5/22, 5/23, 6/19, 7/23, 9/11, 10/16, 11/6, 11/13, 11/27, 12/11)

b. 電話, E-mail による打ち合わせ：多数回

IV. その他

● 会員の表彰・活動等

- APS President (2009) (安藤真教授：東工大)
- Administrative Committee Member(-2009) (伊藤公一教授：千葉大)
- APS Region 10 Representative (中野久松教授：法政大)
- Distinguished Lecturer (伊藤公一教授：千葉大)
- AP Magazine Associate Editor : Features (中野久松教授：法政大)
- AP Transaction Associate Editor (伊藤公一教授：千葉大)
- AWPL Associate Editor (中野久松教授：法政大, 宇野亨教授：農工大)

● 広報

- I. 2008年度 IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award の公募
- II. AP-S Magazine (Chapter News) への活動報告：随時
- III. 国際会議、特別講演会開催案内等を e-mail 配信：随時
- IV. AP-S Magazine ~ iWAT2008 開催報告投稿
- V. ホームページの更新 (随時) (<http://www.nda.ac.jp/~morisita/ap-s/>)
- VI. 会員への案内
特別講演会の開催案内, 種々の News の E-mail 配信 (随時)
本年度総会の開催案内

IEEE の会員状況

I. 会員数

IEEE

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
総数	365,483	367,395	374,767	376,328
US	221,141	218,260	215,851	212,838
Region 10	63,548	62,533	67,442	67,157
AP-S	8,050	8,078	8,012	7,984

Japan Council

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
総数	12,253	12,703	12,745	13,133
AP-S	526	524	540	540

AP-S Japan Chapter

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
札幌 セクション	18	18	17	15
仙台 セクション	35	34	33	34
東京 セクション	334	321	314	313
信越 セクション	東京に含む	東京に含む	11	13
広島 セクション	13	11	13	16
四国 セクション	4	8	10	10

AP-S Fukuoka Chapter

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
福岡 チャプター	25	27	30	32

AP-S Kansai Chapter

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
関西 チャプター	59	65	68	58

AP-S Nagoya Chapter

	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年
名古屋 チャプター	38	40	44	49

(2) 2008 年度会計報告

1. 収入の部 (単位は円)

項 目	金 額
(1) 前年度からの繰越金	¥223,220
(2) IEEE からの活動費	¥231,394
(3) ワークショップ再開催第 11 回	¥40,985
(4) iWAT 剰余金	¥3,045,284
(5) 利息	¥708
収入合計	¥3,541,591

2. 支出の部 (単位は円)

項目	金額
(1) Young Engineer Award 賞金	¥140,000
(2) 講演費 (9 月特別講演講師謝礼金)	¥20,000
(3) 運営費 (特別講演講師懇親会費、新チャプタ設立支援、等)	¥543,253
(4) iWAT 支援費返却	¥200,000
(5) その他雑費 (賞状用紙、祝儀袋、振込手数料、等)	¥22,850
(6) 次年度繰越金	¥2,615,488
支出合計	¥3,541,591

Chapter Treasurer

道下 尚文

(3) 2008 年度 IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award 選考結果

IEEE AP-S Japan Chapter では、昨年度に引き続き 2008 年度も IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award 授与を行うこととし、10 月 24 日締切りで公募を行いました。会員の皆様からの推薦をもとに、Chair 経験者および現役員 10 名からなる選考委員会（選考規程により被推薦論文の共著者は除く）において審査を進めた結果、受賞者として次の 4 名を選定いたしました。

— 記 —

●杉浦 慎哉 君（豊田中央研究所）

S. Sugiura and H. Iizuka, “Reactively steered ring antenna array for automotive application,” IEEE Transactions on Antennas and Propagation, vol. 55, no. 7, pp. 1902–1908, July 2007.

●常光 康弘 君（日本無線株式会社）

Y. Tsunemitsu, S. Matsumoto, Y. Kazama, J. Hirokawa, M. Ando, “Reduction of Aperture Blockage in the Center-Feed Alternating-Phase Fed Single-Layer Slotted Waveguide Array Antenna by E- to H-Plane Cross-Junction Power Dividers,” IEEE Transactions on Antennas and Propagation, vol. 56, no. 6, pp. 1787–1790, June 2008.

Y. Tsunemitsu, G. Yoshida, N. Goto, J. Hirokawa, M. Ando, “The Ridged Cross-Junction Multiple-Way Power Divider for Small Blockage and Symmetrical Slot Arrangement in the Center Feed Single-Layer Slotted Waveguide Array,” IEICE Trans. Commun., vol. E91-B, no. 6, pp. 1767–1772, June 2008.

●西本 浩 君（三菱電機株式会社）

H. Nishimoto, Y. Ogawa, T. Nishimura, and T. Ohgane, “Measurement-Based Performance Evaluation of MIMO Spatial Multiplexing in a Multipath-Rich Indoor Environment,” IEEE Transactions on Antennas and Propagation, vol. 55, no. 12, pp. 3677–3689, Dec. 2007.

●藤井 勝之 君 (南山大学)

K. Fujii, M. Takahashi, and K. Ito, "Electric field distributions of wearable devices using the human body as a transmission channel", IEEE Transactions on Antennas and Propagation, vol. 55, no. 7, pp. 2080-2087, July 2007.

なお、ご参考のために、これまでの IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award (1998 年度までは IEEE AP-S Tokyo Chapter Young Engineer Award) 受賞者を次ページに示します。本 Award は今回で 18 回目になりますが、来年度も積極的なご応募をお願い致します。

《参考》これまでの受賞者（所属は受賞当時）

1991 年度

- 広川 二郎 君
（東京工業大学）
- 山田 寛喜 君
（北海道大学）

1992 年度

- 藤元 美俊 君
（豊田中央研究所）
- 高田 潤一 君
（東京工業大学）
- 柏 達也 君
（北海道大学）

1993 年度

- 大鐘 武雄 君
（ATR 光電波通信研究所）
- 市坪 信一 君
（NTT 無線システム研究所）

1994 年度

- 高橋 応明 君
（武蔵工業大学）
- 宮下 裕章 君
（三菱電機）

1995 年度

- 陳 曙光 君
（東京工業大学）
- 丸山 珠美 君
（NTT ワイヤレス
システム研究所）

1996 年度

- 佐藤 勝善 君
（郵政省通信総合研究所）
- 花山 英治 君
（職業能力開発大学）

1997 年度

- 西澤 一史 君
（三菱電機）
- 村上 康 君
（東芝）

1998 年度

- 大堂 雅之 君
（郵政省通信総合研究所）
- 土居 義晴 君
（三洋電機）
- 森山 敏文 君
（富士通システム
統合研究所）

1999 年度

- 西岡 泰弘 君
（東京農工大学）
- 神谷 幸宏 君
（ATR 環境適応通信研究所）
- 藤本 孝文 君
（長崎大学）

2000 年度

- 齊藤 一幸 君
（千葉大学）
- 高橋 賢 君
（日立製作所）
- 三輪 空司 君
（電気通信大学）

2001 年度

- 阪口 啓 君
（東京工業大学）
- 平田 晃正 君
（大阪大学）
- 平田 和史 君
（三菱電機）

2002 年度

- 有馬 卓司 君
（東京農工大学）
- 安藤 拓司 君
（法政大学）
- 西森 健太郎 君
（NTT）
- 日景 隆 君
（北海道大学）

2003 年度	2004 年度	2005 年度
●井上 貴司 君 (トヨタ自動車)	●平野 拓一 君 (東京工業大学)	●伊藤 知恵子 君 (北見工業大学)
●大舘 紀章 君 (東芝)	●ポンパイブーン 君 (東京農工大学)	●紀平 一成 君 (三菱電機)
●Xuan Nam TRAN 君 (電気通信大学)	●道下 尚文 君 (防衛大学)	●林田 章吾 君 (防衛大学)
2006 年度	2007 年度	
●木村 雄一 君 (埼玉大学)	●大久保 寛 君 (首都大学東京)	
	●羽田 勝之 君 (東京工業大学)	

(4) 2009年度役員候補について

11月17日付けで2009年度IEEE AP-S Japan Chapter 役員候補者を公告しました。
本総会でのご承認をお願いいたします。

2009-2010 年度役員

Chair :	新井 宏之 (横浜国立大学)
Vice Chair :	長 敬三 (NTTドコモ)
Secretary :	山田 寛喜 (新潟大学), 道下 尚文 (防衛大学)
Treasurer :	山田 亜希子 (東芝)

(5) 来年度の活動計画

- ・ IEEE Fellow の推薦, Senior Member 数の増加, 会員数の増加.
- ・ Chapter 新設への支援
- ・ Japan Council に対する Chapter 支援費の申請
- ・ アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップの再開催
- ・ Chapter 独自企画
- ・ 従来の Japan Chapter 活動の国内 Chapter 間での棲み分け整理
(YEA は国内全 Chapter 対象で Japan Chapter で従来どおり運営)
(WS 再開催の手続き明確化 来年 12 月関西チャプタに開催予定)
- ・ 海外 Chapter との連携強化

The Fourth iWAT2008 in Chiba, Japan

The Fourth International Workshop on Antenna Technology (iWAT2008) was held March 4-6, 2008, in Chiba, Japan. The conference took place at the Keyaki Kaikan in Chiba University (Figure 1). It was sponsored and organized by the IEEE AP-S Japan Chapter and Chiba University, Japan. It was held in cooperation with the IEEE AP-S; IEEE AP-S Nagoya Chapter; IEEE AP-S Kansai Chapter; IEEE AP-S Fukuoka Chapter; the Communications Society of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers (IEICE); IEICE Technical Committee on Antennas and Propagation; and the Antennas and Propagation Professional Network of the Institution of Engineering and Technology (IET). iWAT2008 was financially supported by Chiba University, the Chiba Convention Bureau and International Center, the Murata Science Foundation, and the CASIO Science Promotion Foundation.

Due to the devoted effort of the iWAT2008 committee members, this year's iWAT set a new record of 212 registered participants from 25 countries and regions, including accompanying persons. Many of the participants (55%) were from outside Japan. There were four keynote speeches, 28 invited speeches, and 104 poster presentations given during the symposium.

iWAT2008 presented a Poster Presentation Award to the three best papers. The first paper was by S. H. Lee and Y. J. Yoon, "A Dual Spiral Antenna for Ultra-Wideband Capsule Endoscope System," Yonsei University, Korea. The second paper was by B. Sanz-Izquierdo and J. C. Batchelor, "A Dual Band Belt Antenna," University of Kent, UK. The third paper was by T.-G. Ma, C.-W. Wang, R.-C. Hua, and C.-F. Yang, "Phased Array Antenna for UHF RFID Applications Using Artificial Transmission Lines," National Taiwan University, Taiwan.

The conference banquet was held at the Mitsui Garden Hotel Chiba. After the greeting by Prof. Koichi Ito, the General Chair of iWAT2008, Dr. Zhining Chen, one of the founders of the iWAT, explained the meaning of the new iWAT logo. The logo will be used continuously in the iWAT conference series. Prof. Y. Ethan Wang then introduced the next iWAT meeting (iWAT2009), to be held in Santa Monica, CA, with wonderful slides such as scenes of the beautiful beaches near Santa Monica, Hollywood, and Disneyland. Finally, Prof. Raj Mittra showed funny and humorous movies from all over the world. None of the participants expected to see



Figure 1. Keyaki Kaikan, the conference site.



Figure 2. Active discussions during the poster session.



Figure 3. Dr. Zhining Chen explains the meaning of the iWAT logo.



Figure 4. (l-r) Prof. R. Mittra, Dr. Z.-N. Chen, Prof. T. Itoh, Prof. H. Nakano, Prof. K. Ito, Dr. K. Cho, and Prof. D. C. Chang at the banquet.

such amusing videos, and we had a great time and enjoyed the time to relax.

iWAT2009 will be held March 2-4, 2009. Check the Web page for more details: <http://www.ee.ucla.edu/~dmlab/iWAT2009>. We hope to see you in Santa Monica.

Keizo Cho
 NTT DoCoMo, Inc.
 3-5 Hikarino-oka, Yokosuka, Kanagawa
 239-8536, Japan
 Tel : +81-46-840-3800
 Fax: +81-46-840-3789
 E-mail : cho@ieee.org

The iWAT Conference: Maturing Like a Fine Wine

The iWAT Conference is already four years old, and it is maturing – as the old saying goes – like a fine wine. A brainchild of Zhining Chen, iWAT debuted in Singapore in 2005, moved east to New York in 2006, then up the gulf stream to Cambridge in 2007, picking up stream along the way with every move. In 2008, Prof. Koichi Ito offered to hold the workshop at the Chiba University in Japan. You must have heard of the old cliché: “If you want to get something done, give it to a busy man.” We followed this advice, and let Koichi take the helm of iWAT 08.

So, how busy is he you ask? Well, he is Professor of Engineering and a Deputy Vice President of Research at Chiba; an Adjunct Professor of the Institute of Technology Bandung (ITB), Indonesia; past Chair of the Technical Group of Human Phantoms for Electromagnetics; Associate Editor, *IEEE Transactions on Antennas and Propagation*; AP-S Distinguished Lecturer; AP-S AdCom Member; external examiner of many universities, etc. So, you would think that he would shy away from taking on additional responsibilities, namely the job of running the iWAT in 2008. However, run iWAT he did – with flying colors, I might add – together with a great group of his colleagues from Japan and abroad, who ran the workshop as though it were a precision clock by Seiko, with everything running smoothly from the beginning to end.

For the tidbits on the conference, read the accompanying article written by Dr. Keizo Cho, Secretary of the AP-S Japan Chapter, where some statistical details and pictorial mementos of iWAT 08 can be found. For the entertainment at the banquet, where the food was absolutely fabulous, we tried out a new experiment. Tom Cwik, of JPL, whom many of you know, had been sending me some humorous movie clips from time to time. I used some of these, plus a bunch of “dancing” videos from: mid-east (belly dancing), Chinese (Thousand Hand), and, Indian (song and dance scenes from Bollywood movies), which I had collected myself. Although no match for a Kabuki, the audience did have a few belly laughs (= belly dancing + funny movie clips: get it?) from watching these. I also read a little poem at the banquet, as a tribute to iWAT, which is reproduced below.

In keeping with the tradition, a few of us met over a Japanese dinner to plot the next IWAT, to be held in Santa Monica, the

world-famous, swinging place-to-be in LA, fondly referred to some as the “tinsel town of America.” You had better start thinking about it night now, and pencil in the dates March 2-4 in your 2009 calendar. The workshop there is going to be run by the UCLA group, headed by Elhan Wang. More information can be found on the Web site for this meeting:
<http://www.ee.ucla.edu/~dmlab/iWAT2009>.

See you there!

An Ode to iWAT 08

IWAT 2008 is being held in the prefecture of Chiba,
 Only a stone’s throw away from Tokyo in the quiet suburbia;
 The university campus is a real nice venue,
 And the TPC has put together a great program menu;
 It comprises small antennas, BANs, LANs and Metamaterials,
 Some papers are very profound, though others are frivolous*;
 The symposium – a great success – and Prof. Ito can be justly
 proud,
 So friends, raise your glasses and let’s cheer them up real loud.

*Such as “To Use or Not to Use Effective Medium...”

Ye Olde

Professional Conference Hopper Extraordinaire

Raj Mittra
 EE Department
 Pennsylvania State University
 319 Electrical Engineering East
 University Park, PA 16802-2705 USA
 Tel: +1 (814) 865-1298
 Fax: +1 (865) 1299 or 863-8457
 E-mail: Mittra@enr.psu.edu